5 平安宮内裏承香殿跡

新出水通に面して後宮七殿五舎の承香殿跡内に石碑とともに設置されています。紫宸殿、仁寿殿、そして承香殿と3殿が内裏中央南北に置かれています。源氏物語では朱雀院の妃である承香殿の女御が今上帝を生みました。

1 平安宮内裏跡

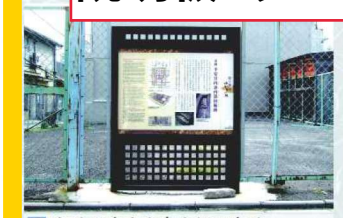
下立売通の南側の敷地内、内裏の区画を少し離れ東方に設置されたものです。内裏の配置図や復元鳥瞰などを示し、説明板の位置や内裏跡全体の説明がされています。ゆかりの地説明板としては最も大きなものの一です。

6 平

下立売
ます。こ
り、貴重
にあって
頭中将

ゆ（藤壺
あった場
話の重要

2（5）「源氏物語ゆかりの地」説明板（1～8）



7 史跡平安宮内裏内郭回廊跡

天皇の暮らす内裏は、厳重に警護されていました。外側には外郭と呼ぶ大きな築地、内側には中央の築地とその両側に回廊を持つ内郭回廊とで、二重に囲まれていました。外郭には建礼門、内郭には承明門が置かれ、天皇の出御はこの門を使用しました。この場所でその回廊跡が見つかり史跡として保存されています。

3 平安宮内裏弘徽殿跡

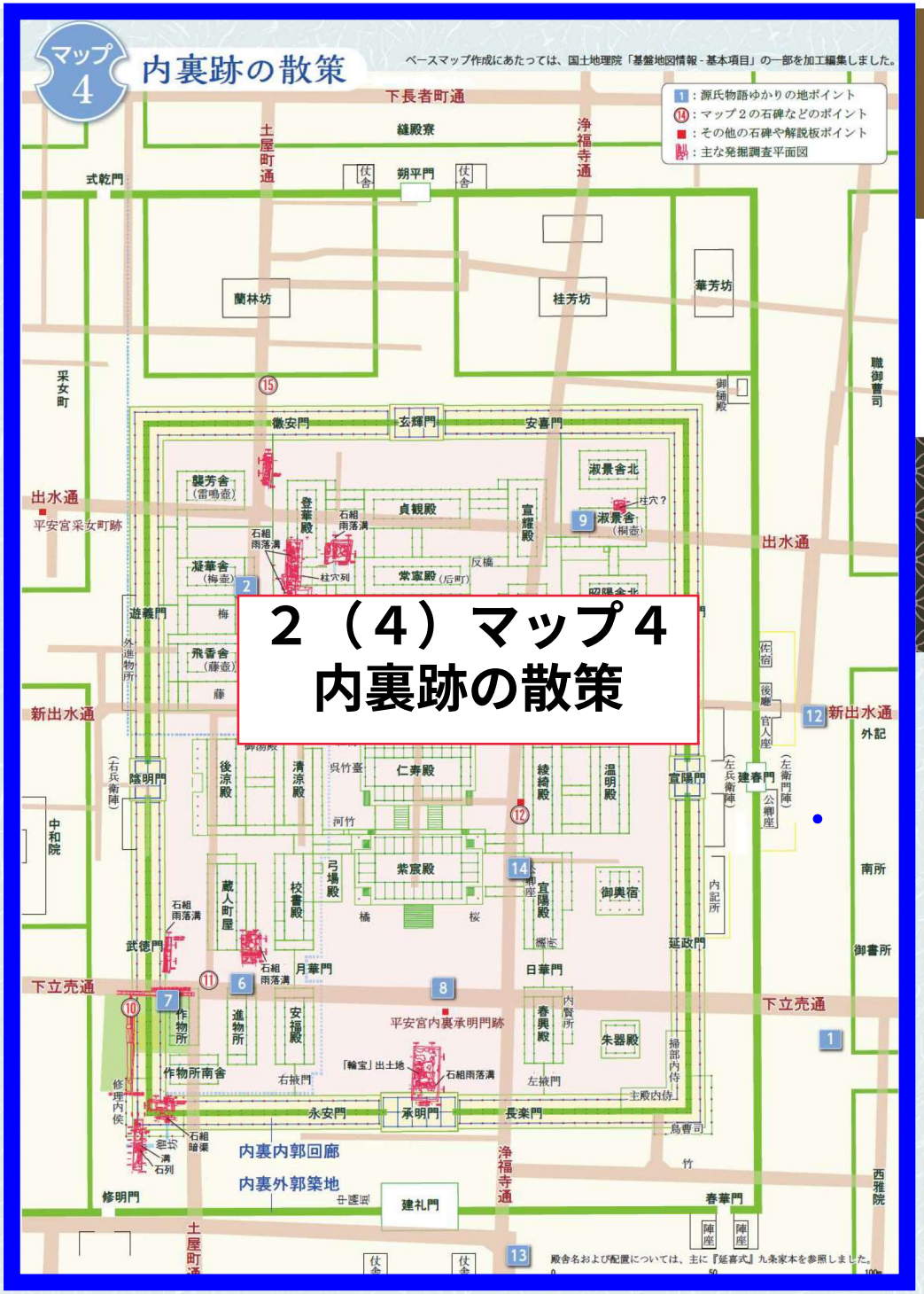
②の解説板のすぐ南に設置され、後宮七殿五舎の弘殿跡を説明しています。物語では朱雀院の母である弘殿の女御が住み、後の物語が展開していく重要な設定所となっています。登華殿とともに建物跡の一部が見かっています。

8 平安宮内裏紫宸殿跡

内裏の中で最も重要な建物である紫宸殿跡を説明しています。南には白砂が敷かれた庭が広がっていました。天皇出御のもと国家の重要な多くの儀式が行われました。物語では、弘徽殿の春宮（東宮）の元服の儀式などが行

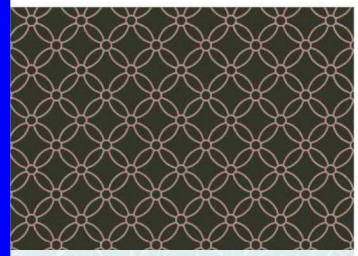
4 平安宮内裏清涼殿跡

天皇が暮らす清涼殿跡を説明しています。この位置らすぐ南側にあたり、北半分が寝所など私的、南半分に中行事など公的な使われ方をしていました。物語では庭で光源氏が頭中将とともに青海波を舞う場所とし



2（4）マップ４ 内裏跡の散策

新版
平安京図会
『源氏物語ゆかりの地』の巻



源氏物語ゆかりの地の巻

『源氏物語ゆかりの地』No. 1 ～ 14 ポイント

平安京図会とは、京都アスニー１階にある「京都市平安京創生館」の展示品について紹介した「復元模型の巻」、これらを巡るための「史跡散策の巻」、源氏物語の舞台を示した「源氏物語ゆかりの地の巻」の３巻を収録したものです。

この「源氏物語ゆかりの地の巻」では、内裏の復元図と説明板の位置、裏面には説明板一覧表を示してあります。あわせて、平安時代に関係する石碑や解説板などの位置も示しました。

説明板は、源氏物語千年紀を迎えた平成20年（2008）に京都市により設置され、令和５年（2023）に7箇所が追加されました。

編集・制作
（公財）京都市生涯学習振興財団（京都アスニー）
〒604-8401　京都市中京区繁楽園松下町 9-2
（京都市中京区丸太町通七本松西入）
（075）812-7222（事業係）

協　力
京都市考古資料館・京都市文化財保護課・
京都市歴史資料館・（公財）京都市埋蔵文化財研究所

発　行
山代印刷株式会社 出版部
〒602-0062　京都市上京区寺之内通小川西入
℡ 075-441-8177

発 行 日
第１版　第１刷　2024（令和６）年３月 31 日

「古典の日記念 京都市平安京創生館」展示情報
https://heiankyosouseikan.asny.ne.jp/

写真：「源氏物語絵巻」（伝田中親美模、京都市立芸術大学芸術資料館蔵）

「源氏物語ゆかりの地」説明板設置場所一覧

番号	説明板の名称	設置場所
1	平安宮内裏跡	上京区下立売通智光院西入る下丸屋町
2	平安宮内裏凝華舎（梅壺）跡・飛香舎（藤壺）跡	上京区上屋町通水下る西神明町（民家）
3	平安宮内裏弘徽殿跡	上京区出水通千本東入下る東神明町（民家）
4	平安宮内裏清涼殿跡	上京区下立売通千本東入田中町（民家）
5	平安宮内裏承香殿跡	上京区浄福寺通出水下る西入東神明町（民家）
6	平安宮内裏蔵人町屋跡	上京区下立売通千本東入田中町（民家・店舗）
7	史跡平安宮内裏内郭回廊跡	上京区下立売通千本東入田中町（史跡指定地）
8	平安宮内裏紫宸殿跡	上京区下立売通浄福寺西入田中町（民家）
9	平安宮内裏淑景舎（桐壺）跡	上京区出水通浄福寺東入田村備前町（民家）
10	平安宮内裏昭陽舎（梨壺）跡	上京区浄福寺通出水下る東入田村備前町（ガレージ）
11	平安宮内裏温明殿（内侍所）跡	上京区智恵光院通出水下る分銅町（松林寺北門）
12	平安宮内裏東限と建春門跡	上京区浄福寺通下立売下る中務町（京都市立二条城址小学校）
13	平安宮内裏南限と建礼門跡	上京区浄福寺通下立売下る丸屋町（ガレージ）
14	平安宮内裏宜陽殿跡	上京区千本通丸太町下る東入主税町（民家）
15	平安宮大蔵省跡・大宿直跡	上京区千本通丸太町上る小山町（内野児童公園）
16	平安宮朝堂院大極殿跡	上京区千本通丸太町上る小山町（京都市立正親小学校）
17	史跡平安宮跡（豊楽院跡・藻壁門跡）	中京区聚楽廻西町（史跡指定地）
18	平安宮朝堂院昌福堂跡	上京区千本通丸太町上る東入主税町（民家）
19	平安京一条大路跡	上京区一条通大宮東入下石橋南平町（民家）
20	一条院跡	上京区大宮通中立売上る糸屋町（名和児童公園）
21	一条院殿補地（陽成院跡）	中京区夷川通小川東入東夷川町（夷川児童公園）
22	大学寮跡	中京区西ノ京北聖町（京都市立中京中学校）
23	斎宮邸跡	中京区西ノ京東中合町（京都市立西京高校）
24	朱雀院跡	中京区壬生花井町（日本写真印刷株式会社）
25	西洞院邸跡	下京区朱雀堂ノ口町（ホシアルエミオン京都）
26	羅城門跡	南区九条通新千本東入唐橋羅城門町（唐橋・花園児童公園）
27	馬寮跡	左京区鞍馬本町（鞍馬寺境内）
28	大雲寺旧境内	左京区岩倉上蔵町北山病院敷地内（旧大雲寺境内）
29	雲母坂	左京区一乗寺竹ノ内町（関西セミナーハウス敷地）
30	雲林院	北区紫野雲林院町（雲林院）
31	遍照寺境内	右京区嵯峨広沢西裏町（遍照寺境内）
32	梗森駅跡	右京区嵯峨駅瑞雲藤ノ木町（清凉寺境内）
33	野宮（野宮神社）	右京区嵯峨野々宮町（野宮神社境内）
34	大堰の邸推定地	右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町（宿泊施設らんさん）
35	法成寺跡	上京区荒神口通寺町東入荒神口（鴨川高等学校北側グラウンド南側北）
36	麗山寺	上京区寺町通広小路上る北之辺町（麗山寺境内）
37	梨木神社	上京区寺町通広小路上る染殿町（梨木神社境内）
38	鳥辺野	東山区妙法院前側町（豊国廟参道・上条通東大路東入北側）
39	大原野神社	西京区大原野南春日町（大原野神社）
40	西三条第（藤原良相邸）	中京区西ノ京小倉町
41	紅梅殿	下京区綾西洞院町（綾西公園）
42	六条河原院	下京区上高野小森町（六条院公園）
43	小野いふわたり・京都市指定史跡小野瓦窯跡	左京区上高野流田町（宝が池公園子どもの森園）
44	松ケ崎	左京区上高野東山町（晴明神社）
45	晴明神社	左京区晴明町（晴明神社）
46		北区上賀茂本山町32（賀茂寺）
47		

マップ1　マップ3　マップ1/平安京と京都（写真は「復元模型の像」と掲載）　マップ3/平安京跡の散策　マップ2/平安宮跡の散策　マップ4/内裏跡の散策

27 羅城門跡

朱雀大路の南正面に開くのが羅城門です。平安京の表玄関です。東西七間で中央五間に扉がある二階建ての門と考えられています。芥川龍之介が書いた小説「羅生門」の舞台です。藤原道長は法成寺造営のために羅城門の礎石を抜き取り持ち帰りました。

23 大学寮跡

千本通から東へ、押小路通の北側に大学寮跡の説明板があります。国立の教育機関で役人の子弟が学びました。平安宮の朱雀門のすぐ南東にあり、南北２町東西２町の４町域を占める広大な敷地を有していました。物語では光源氏の子の夕霧が通っています。

19 平安宮朝堂院昌福堂跡

大極殿のすぐ南東にあるのが昌福堂です。朝堂院には 12 の堂が並んでいますが、その中でも最上位の建物で時の政権のトップである太政大臣以下が入る建物です。物語では、光源氏は 33 才で太政大臣についており、この堂に入ったことになります。

15 平安宮大蔵省跡・大宿直跡

平安宮内に設置された役所である大蔵省跡と大宿直跡を説明したものです。中立売通に面した南側にある市立正親小学校の正門前に、聚楽第本丸西濠跡を示す石碑などとともに設置されています。大蔵省には多くの蔵が建ち並び、大宿直は大内裏警護の詰所です。

41 西三条第（藤原良相邸）

西三条第は、平安時代前期、応天門の変などで有名な右大臣藤原良相の邸宅です。平安京のことを記した『拾芥抄』はこの町を西三条第としています。発掘調査では、なだらかな洲浜が設けられた池跡や建物跡などが見つかり、仮名文字を書いた土器などが数多く出土しています。

24 斎宮邸跡

市立西京高校の正門前に設置されている斎宮邸跡の説明板です。平成 12 年（2000）に行われた発掘調査で、天皇のかわりに伊勢神宮に仕える斎宮が暮らした邸宅跡が見つかりました。物語では場所は特定できませんが、野宮に六条御息所とその娘（秋好中宮）が登場します。

20 平安京一条大路跡

一条大路は、平安京の北限を東西方向に通る幅が 10 丈（約 30m）もある大路です。平安京内は大路 8 丈（道幅約 24m）や小路 4 丈で碁盤の目に区切られています。物語では、葵祭の斎王代御禊の儀で有名な車争の場面として、多くの屏風に一条大路が描かれています。

16 平安宮朝堂院大極殿跡

千本丸太町の北西にある内野公園に設置されている朝堂院大極殿跡の説明板です。公園内には「大極殿遺址」やこの場所が大極殿院北回廊跡であることを示した説明板、回廊基壇や柱の位置表示がされています。平安宮跡の中心にあたる場所です。

42 紅梅殿

四条西洞院を南へ行った綾西公園に建っています。この場所は菅原道真の邸宅である紅梅殿です。道真は宇多天皇の時、右大臣として活躍していましたが、藤原時平の陰謀で大宰府に流されました。やがて雷神となって内裏に落ち、人々は北野に社を建て、道真を祀ることになります。

25 朱雀院跡

朱雀院は朱雀大路の三条大路から四条大路まで、南北４町、東西２町の広大な敷地を有する京内最大の後院です。嵯峨天皇の頃設置されたようです。京内では最大クラスの建物跡も見つかっています。物語「紅葉賀」では一院の 50 歳の祝いの場面が華やかにえがかれています。

名です。天皇の中宮であった藤原道長の娘彰子、そして紫式部もこの邸宅に暮らした時期がありました。

角に設置されています。左馬寮は馬の飼育や各地の牧などの管理を行う役所で、物語では左馬頭が登場します。

にこの説明板が設置され、建礼門について述べられています。この門は五間の規模を有し外郭を囲む門では最大です。

11 平安宮内裏温明殿（内侍所）跡

新出水通に面して設置されている温明殿跡（内侍所跡）の説明板です。この殿には三種の神器の一つである神鏡をおさめた賢所も置かれていました。また内侍所も置かれ、温明殿を賢所とも内侍所とも呼びました。物語では、源典侍が登場します。

9 平安宮内裏淑景舎（桐壺）跡

出水通に接して後宮七殿五舎の淑景舎跡（桐壺）の説明板です。庭に植えられた桐にちなんで桐壺と呼ばれていました。清涼殿から最も離れた内裏の北東角の一画に南北２宇で構成されていました。物語では、光源氏の母である桐壺更衣が住んだ場所です。

43 六条河原院

五条高倉から約100m南に位置する六条院公園内に、六条河原院の説明板があります。これは、この地から東へ200m付近にあった源融の大邸宅河原院を説明したものです。融は光源氏のモデル候補の一人です。嵯峨天皇の皇子として生まれ、源氏姓を下賜され、左大臣として長く活躍しました。

26 西鴻臚館跡

外国からの使節を迎えるため、七条大路には朱雀大路をはさんで南北２町の鴻臚館が設置されていました。この設置場所は、西鴻臚館にあたります。この地の発掘調査では、平安京以前の都城で使用された軒瓦が多く出土しています。物語では、光源氏が新羅使に会いに訪れます。

22 二条院候補地（陽成院跡）

平安京左京二条二坊十三・十四町は陽成院にあたり、この説明板はその中の夷川公園に建てられています。この一帯には最高位クラスの貴族の大邸宅が建ち並んでいました。物語に登場する光源氏が暮らした邸宅である二条院の候補地の一つとなっています。

18 史跡平安宮跡　豊楽院跡（豊楽殿跡）

大内裏の中央部に朝堂院と東西に並んで置かれたのが豊楽院です。その正殿が豊楽殿です。昭和 63 年（1988）この場所の発掘調査で、豊楽殿北西角から北側中央階段の一画が発見され、史跡として整備されました。正月元旦の宴など天皇が出御し

14 平安宮内裏宜陽殿跡

内裏宜陽殿跡の説明板です。紫宸殿の東に連なり、南北に建つ九間三面の規模を有する最重要殿舎の一つです。その中には累代の楽器や書籍などの御物をおさめた納殿、公卿座、議所などが設けられていました。西側に建つ校書殿などとともに

12 平安宮内裏東限と建春門跡

新出水通の南側に松林寺があります。その門前に内裏外郭東面に開く建春門跡についての説明板があります。隣には、豊臣秀吉の築いた聚楽第を示す石碑も建っています。松林寺の境内が一段下がっているのは、その濠跡ではないかとみられて

10 平安宮内裏昭陽舎（梨壺）跡

新出水通に面して石碑とともに設置された昭陽舎跡についての説明板です。9の淑景舎跡の南側に位置し、同じように南北２宇で構成されていました。庭に梨が植えられ、この名がついています。平安時代中期には東宮御所としても使われ

２（５）
「源氏物語ゆかりの地」説明板
（９～２７、４１～４３）